

(107) 岩手県住田町の田の上鉱山

参考文献(1)から、この鉱山を紹介しよう。所在地は岩手県気仙郡住田町世田米田の上である。世田米鉱山とも呼称するらしい。鉱種は金、銀、タングステン。金鉱脈の下にタングステン鉱が発見され稼業をしていたが、昭和31年に休山となり、昭和48年に鉱区は廃棄された。

この鉱山への経路は次の通りである。陸前高田市の竹駒付近で、340号に入り、気仙川に沿って北上していく。8kmから9km進むと、田谷地区に入る。この田谷地区で、気仙川の右岸に位置している田の上地区へは、気仙川に架かっている橋を渡っていく。この橋の前方には山の斜面が広がっている。図1の地形図通りである。この斜面内に、鉱山の坑口跡があった。

1度だけの探査に終わっている、図2の地質図を手引きに、じっくりと探査をしたい鉱山跡である。

探査日 2011年12月

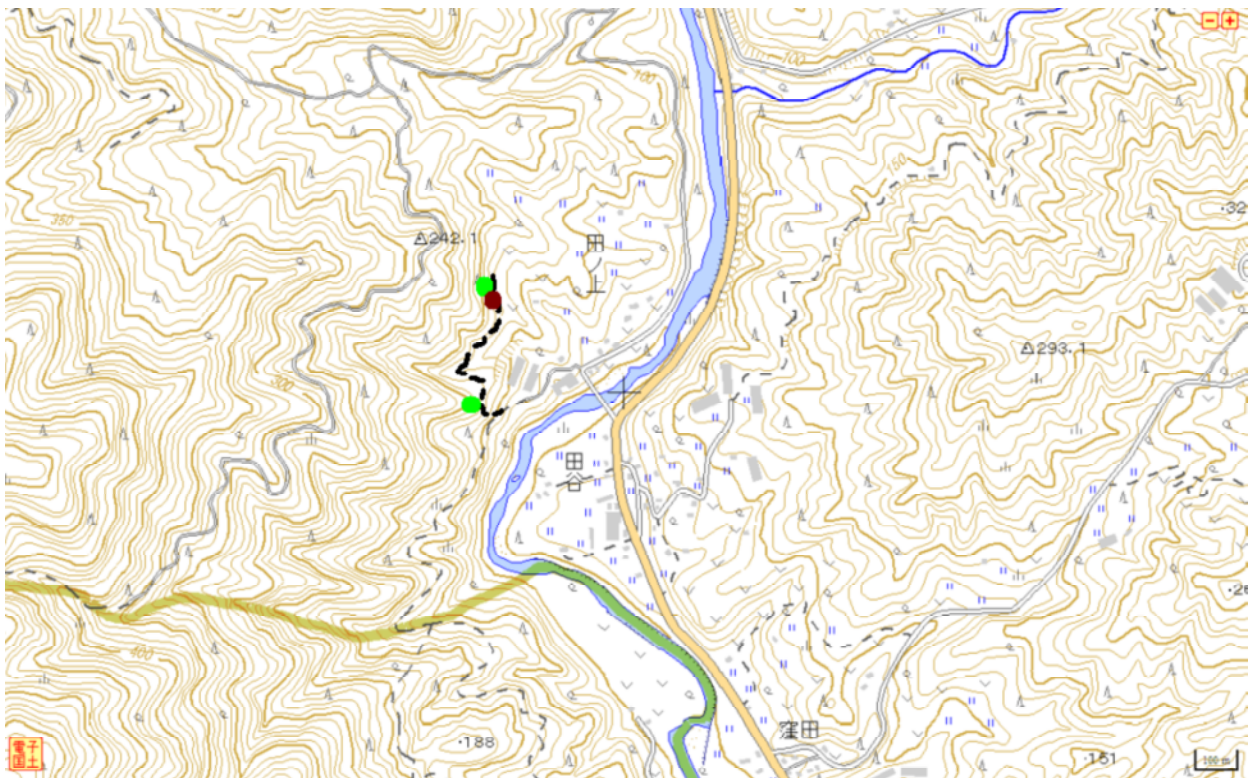


図1 国土地理院の地図サービスホームページより複写掲載。黄緑丸は坑口跡。茶丸はズリ。

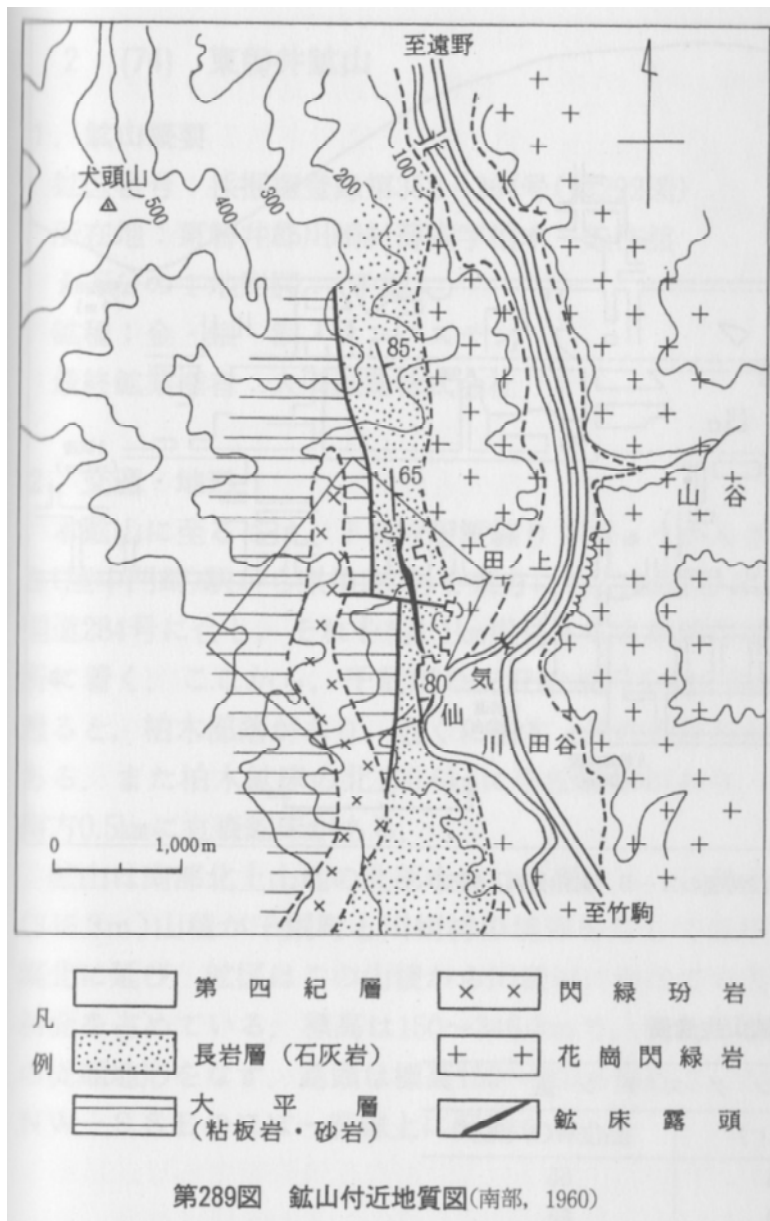


図2 参考文献(1)からの複写掲載。50年以上前の地質図であるが、最近の地形図である図1と良く対照することができる。1回だけの探査しかしていない。露頭鉾床は見つけていない。

鉾山跡写真



写真1 田谷地区に入ると、進行方向左側に、気仙川にかかっている橋がある。この橋の先が、田の上地区である。橋の手前右の広場に案内板がある。



写真2 田の上・田谷地区の案内板。「田の上金山跡」の文字が見える。



写真3 橋を渡った先で、前方の細い道へ入っていく。



写真4 道を進んでいくと、鉱石のホッパー(?)らしい木製施設があった。この道を右にカーブした先の山側に、坑口跡があった。



写真5 道を進んでいくと、左側斜面の竹藪の中に、黒い穴が見えた。坑口跡である。図2には、5つほどの坑口が記載されている。下から2番目の坑口跡と思われる。



写真6 坑口から、黒い穴中を撮影。立派な坑道が伸びている。



写真7 林道を更に先に進んだ所の、林道脇にズリらしい跡と、潰れた坑口跡らしい箇所を発見。図2中の5つの坑口のうちの一番上のものと思われる。



写真8 写真6のズリ跡らしい所を接写。石英屑が沢山散らばっていた。

採集鉱物写真

採集物は無し。

参考文献

(1)「新岩手県鉱山誌」、高橋、南部、東北大学出版会、2003年。